

平成29年度名古屋文理 食と栄養研究所講演会

日時

平成30年2月2日(金) 13:30~16:40
(受付開始 13:00~)

会場

名古屋文理大学 FLOS館3階 FLOSホール

参加費

無料

お申込み

裏面参照

後援

愛知県教育委員会 稲沢市 稲沢市教育委員会
一般社団法人 全国栄養士養成施設協会

13:40~15:10

腸内細菌と健康長寿 ~健康寿命を伸ばすヨーグルトを創り出せ!~

協同乳業株式会社 研究所 主幹研究員 **松本 光晴氏**

ヒト腸内には、糞便1gあたり1000億~1兆個、一人あたり100~200種程度の腸内細菌が棲息している。健康・病気に強く関わっており、直近10年間の科学の世界において、最もホットな分野の一つである。演者らは、腸内細菌が生成する小さいサイズの物質は、腸から吸収され生体に直接的に作用するため重要であるとの仮説のもと、糞便中の物質を調べる研究を20年間進めてきた。その結果、「ポリアミン」という物質が抗加齢因子として浮上し、厳選したビフィズス菌等を用いて腸内ポリアミン濃度を高める技術を構築し、マウスで寿命伸長および学習記憶力向上の効果が得られることを見出した。本講演では、「ウンチ集め」等の研究の苦労話も含めて本研究成果を紹介する。



15:20~16:00

食と栄養で健康な社会を支える栄養士・管理栄養士の役割

愛知県栄養士会 会長 准教授 **柵木 嘉和氏**
(名古屋文理大学短期大学部食物栄養学科)

栄養士制度が出来たころは、戦後で食料事情がわるく、栄養不足が大きな問題でした。その後、経済成長に伴って「飽食・過食」へと変化し、近年においては「偏り」と「過剰」、さらには「不足」が混在する多様な問題を抱えるようになりました。そして、生活習慣病の増加や急速に進む高齢化の中、食を通して人々の健康を守る栄養士・管理栄養士が求められています。今回は、栄養士・管理栄養士の取り組みについて話します。



16:10~16:40

食と栄養研究所 プロジェクト研究報告 — 骨・軟骨の発生と成長 —

名古屋文理大学 健康生活学部健康栄養学科 教授 **平林 義章氏**

男女の平均寿命が80歳を超えてきた昨今、健康寿命とか介護予防に対して関心が高まっています。健康寿命や介護予防を阻害する3大因子として、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)、運動器症候群(ロコモティブシンドローム)、認知症があげられますが、今回は私の専門の「骨・軟骨の形成」という面から、プロジェクト研究の結果も交えて、どのように健康を維持するかというお話をしたいと思います。



N A G O Y A ●
BUNRI

名古屋文理 食と栄養研究所

〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365
Tel 0587-23-2400 Fax 0587-21-2844

※お問い合わせは 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)